

オープニングコンサート 時空を超え、 光の世界へ

2008年5月24日(土)

【開場】17:30 【開演】18:30

栗東芸術文化会館さきら大ホール(栗東市緒2-1-28)

出演者

林英哲(太鼓奏者) 中谷満(ティンパニ・打楽器奏者)
英哲風雲の会 パーカッション シュレーゲル
アンサンブル

入場料

一般 3,500円 小中学生 2,000円
シルバー・障害者 2,500円 ※全席指定
※未就学児は入場不可

プレイガイド

- 滋賀県社会福祉事業団企画事業部
0748-31-2481 (10:00~17:00/土・日曜休)
- 栗東芸術文化会館さきら
077-551-1414 (10:00~17:00) (月曜休館)
- 電子チケットぴあ
0570-02-9999 (Pコード 290-480)
- ファミリーマート、サークルK・サンクス 各店頭 (Pコード 290-480)
- e+イープラス <http://eplus.jp>
- 平和堂くらしのサービスセンター
(AP栗東・AP瀬田・AP草津・AP守山・AP野洲・AP水口・AP近江八幡・栗東店・甲西中央店・近江八幡店)

お問い合わせ

第8回全国障害者芸術・文化祭滋賀大会実行委員会 事務局
〒523-0893滋賀県近江八幡市桜宮町235 滋賀県社会福祉事業団企画事業部内
TEL:0748-31-2481 FAX:0748-31-2482 E-Mail: kikaku@sisyazi.jp



交通のしるし
● JR琵琶湖線 栗東駅 東口より約400m 矢張から約60分 京都から約25分
● 名神高速道路 栗東ICより約3km
※駐車場あり(公演時間内無料)



主催 厚生労働省、滋賀県、第8回全国障害者芸術・文化祭滋賀大会実行委員会
共催 NHK 大津放送局
後援 障害者施策推進本部、文化庁、(財)日本障害者リハビリテーション協会、(社)全国社会福祉協議会、(社)日本身体障害者団体連合会、(社)日本盲人会連合会、
(財)全日本聾啞連盟、(社)全日本手をつなぐ育成会、(財)日本知的障害者福祉協会、(財)毎日新聞社会事業団、(社)朝日新聞厚生文化事業団、
(社)読売光と愛の事業団、(社)産経新聞厚生文化事業団、日本経済新聞社、(社)中日新聞社会事業団、(社)NHK厚生文化事業団、(社)共同通信社、(株)時事通信社、
(株)毎日新聞社、(株)読売新聞社、(株)朝日新聞社、(株)産経新聞社、(株)中日新聞社、(株)京都新聞社、びわこ放送(株)、(株)エフエム滋賀、(財)京都新聞社会福祉事業団
制作協力 (有)遙[HAL] (有)東京音楽工房 (有)スコブル工房 栗東芸術文化会館さきら(指定管理者:ジェイアール西日本総合ビルサービス) (社)滋賀県社会福祉事業団

アートはボーダレス

「障害」の枠にとらわれず、人間本来の持つ共通普遍的な表現の力と表現活動の芸術性・文化性を滋賀から全国に情報発信し、人として互いに認め、高めあえるボーダレスな芸術・文化活動の環境を積極的に創造することを目的に、これまで滋賀で培われてきたボーダレスな芸術・文化の様々な取り組みを滋賀県内全域で一年間通して展開します。

※大会詳細はコンサート当日に発表いたします。



映像制作：代島治彦

日本のアウトサイダー・アート作品(映像)

全国の福祉施設やアトリエなどで制作された絵画や造形作品を映像で、舞台の上で紹介いたします。人の持つ共通普遍的な表現力を、林英哲氏、中谷満氏両氏の演奏とのコラボレーションにより、舞台の上から会場の皆様にお届けします。

オンライン時空を超え、光の世界へ 出演者紹介



Photo by K.Kurigami

林英哲 (太鼓奏者)

広島県生まれ。11年間のグループ活動後、82年和太鼓独奏者として活動を開始。84年初の和太鼓ソリストとしてカーネギー・ホールにデビュー。現代音楽の分野でも前例のない和太鼓ソリストとして国際的に高い評価を得た。以来、ロック、ジャズ、現代音楽、民族音楽などの演奏家と共演しながら、かつての日本の伝統にはなかったテクニックと体力を要する大太鼓のソコ奏法の創造、多種多様な太鼓群を用いた独自奏法の創作などジャンルを超越した、まったくオリジナルな太鼓表現を築きあげていく。98年からは新たなステージとして、林英哲自身が刺激を受けた芸術家の作品や生き方をテーマに、太鼓ドラマともいうべき劇的舞台作品の創作を始め、コンサートツアーもスタート。「万零」(マン・レイ)、「若沖の翼」(伊藤若沖)、「光を蔭く人」(高島野十郎)、「霧の運」(浅川巧)、そして「レオナルドわにに羽賜べ」(藤田嗣治)と全国各地で公演。このステージは、国内はもとより海外でも評判を得る。昨年は東京(サントリーホール/東京交響楽団)関西(兵庫芸術文化センター/大阪エンタレリー交響楽団)でソコ活動25周年記念コンサートを全曲太鼓協奏曲(指揮:岩村力)で構成初演、絶賛を博す。また今年も一昨年来の国立劇場の委嘱による「千響」シリーズ三部作のプロデュース、構成・出演を予定。演奏活動の他、イベント等でプロデューサー、映画、演劇などの音楽、創作太鼓の委嘱作品、指導も多数。エッセイ等の執筆も多く、著書に「あしたの太鼓打ちへ」がある。97年芸術選奨文部大臣賞を受賞、01年日本文化芸術振興賞を受賞。04年より洗足学園音楽大学の客員教授に就任。 林英哲情報 <http://www.eitetsunet>



Photo by T.Iijima

中谷満 (ティンパニ・打楽器奏者)

滋賀県大津市出身。1973年京都市立芸術大学音楽学部卒業。同年大阪フィルハーモニー交響楽団に入団。1977年3月より1年間、旧西ドイツ国立ベルリン音楽大学に留学、ベルリン・フィルの首席ティンパニストのW.テリヒェンおよび国立ベルリン・ドイツ・オペラ管弦楽団の首席打楽器奏者K.キースナーの各氏に師事するとともにベルリン放送管弦楽団、ベルリン・ドイツ・オペラ管弦楽団などに出演する。帰国後は、1990年よりパーカッション・アンサンブル「シュレーゲル」を主宰するなど、オーケストラでの演奏のほかにも数多くの協奏曲独奏やアンサンブルの活動を行い、そのなかでも師のテリヒェン氏の「ティンパニ協奏曲」を数回にわたり紹介したことは特筆に価する。

京都市立芸術大学在学中は村本一洋氏、卒業後は山口恭範氏に師事。

2008年3月大阪フィルを退団。同年4月より相愛大学音楽学部教授に就任。また大阪芸術大学で客員教授、同志社女子大学などで非常勤講師を務め、後進の指導にも精力的にあたっている。



Photo by S.Takehara

英哲風雲の会 (はせみきた、服部博之、田代誠、谷口卓也)

日本各地で活躍している若手太鼓打ちの中から、林英哲の音楽に共鳴する実力者が揃う。メンバーは流動的に十数名で構成され、ソロで活動する林英哲がアンサンブルを行うとき、必要な人数が参集する。広辞苑に「風雲の会」とは「英傑などが時機に乗じて志を達する好機」とあり、活動の精神と通うことから会の名に転用。

95年より本格的な活動を開始。林英哲と共に国内外の公演に多数参加。近年は「英哲風雲の会」単独での国内のみならず海外公演も行う。また、昨年は林英哲ソロ活動25周年記念公演で初のオーケストラとの共演も果たしている。その圧倒的な迫力とライブパフォーマンスは大反響を呼んでいる。

今回参加するのは主要メンバー4名。



パーカッションアンサンブル「シュレーゲル」

(宮本安子、清水美紀、中路友恵、関口百合子、池田愛子、土方雅子、西岡美恵子、改發麻衣、満永絢子、松尾桜、磯野加奈)

1990年に結成されたパーカッショングループ。元・大阪フィルハーモニー交響楽団の中谷満が中心となり、多方面で活躍する門下生(同志社女子大学音楽学科打楽器専攻卒業生を中心)で構成されている。関西を中心に活動を展開し、幅広いレパートリーを持つ。本格的でダイナミックな演奏に加え、ユニークな打楽器紹介等、小・中・高校の芸術鑑賞公演にも好評を博す。「シュレーゲル」とは、ドイツ語で「スティック」の意味。

第8回全国障害者芸術・文化祭滋賀大会「アートはボーダレス」の開催を記念して、委嘱作品「和太鼓と打楽器アンサンブルのための鼓神Ⅱ」(作曲和田薫)を全出演者にて、世界初演を行います。



和田薫

【会場案内】

栗東芸術文化会館さくら 〒520-3031滋賀県栗東市縄2丁目1番28号 TEL:077-551-1455 FAX:077-551-2272 <http://www.sakira-ritto.net>

【交通のご案内】

●JR琵琶湖線「栗東駅」東口より約400m(大阪から約60分、京都から約25分) ●名神高速道路「栗東I.C.」より約3km ※駐車場あり(公演時間内無料)